

所 属 鳥取県漁業協同組合（網代港支所）
氏 名 かわべ かずひろ
川部 一 宏 （58 歳）
船 名 けいちょうまる 120 トン
漁業種類 沖合底びき網



～新たな技術を取り入れてきたベテラン。次世代のためにもう一頑張り！～

「次世代育成のために、もう一頑張りしたい。」と語るのは、恵長丸船長の川部さん。船員だった若い頃は、甲板に波が入り込む危険な状況の中、手作業で様々な船上業務をこなしてきた。現在は船体の安全性が高まり、作業の機械化も進んだ。安全、実務の両面で技術の進歩を感じ、それを取り入れてきた川部さんは、「将来は電動化がもっと進む」と予想する。

「漁師は魚を獲るのが仕事」と船長としてより多くの漁獲を求める一方、「獲り過ぎれば魚は減るし、全体の単価も下がる」と、網代沖底船の一員として、さらに高い視点から考えを巡らせる。

そして何より、船員の安全が第一だと考える。川部さんは言う。「自分を振り返ってもそうだが、何が危険か、船でどう動くべきか未経験のことは想像が付きにくい。自分の経験を上手く伝えられたらいいと思う」。今の船には若い船員も乗っている。漁業歴 40 年のベテランは自身の経験、技術を船員へ伝えるべく気合いを入れる。

～かわいいお孫さんも先端に行く～

川部さんはデジタル機器への理解があり、水揚港と漁獲情報をやりとりする時もスマートフォンのアプリを利用されている。お孫さんにいたってはオムツをはいている時からスマートフォンを扱われていたそう。ものすごいなあ…

（文責：田中 秀一）